

令和5年度 森林環境譲与税に関する決算状況

No.	事業区分	事業名	事業総額（千円）			事業内容	実績
			(A)+(B)	(A)うち森林環境譲与税（千円）	(B)うち他の財源（千円）		
1	意向調査、集積計画等作成	森林経営管理事業推進費	7,289	7,263	26	令和3年度までに市に経営管理を委ねることを検討したいと回答した森林所有者に対して、フォローアップ文書の送付。また、未整備森林解消に向けた整備について、適切な経営管理が行われていない人工林の現地調査を行い、所有者に対して現況の報告、未整備森林の経営管理の方向性を定めた。	・フォローアップ資料の送付:1,313件 ・現地調査 85箇所 25.52ha
2	私有林整備	造林事業促進補助金	11,605	2,921	8,684	公共等に採択された下刈・間伐等について上乗せ補助を実施。	保育間伐：13.24ha 間伐(搬出)：21.60ha 下刈：70.02ha 枝打ち：5.78ha
3	森林・林業・木材普及活動等	地域材利用促進事業	1,367	1,367	0	地域材を利用した木製工作キットを使用し、市内の地域ごとに木工教室を開催。	小学生の夏休みおよび冬休み期間にあわせて「親子で作る木工工作教室」を市内の公共施設など6会場で計12回開催し、219名のご家族が来場した。
4	森林・林業・木材普及活動等	出生祝記念品事業	8,441	8,410	31	赤ちゃんの誕生を祝い、道南スギを活用した記念品を贈呈。	記念品 1,016個を購入
5	その他(人材育成等)	北海道林業・木材産業人材育成支援協議会負担金	100	100	0	「北海道立北の森づくり専門学院」の創設を契機として設立された北海道林業・木材産業人材育成支援協議会への負担金。	
6	その他(人材育成等)	自伐型林業普及推進事業	2,827	2,827	0	自伐型林業の普及促進のためのフィールドワーク研修を10日開催。	研修参加者：40人
7	木造公共建築物の整備等	函館山緑地整備費	27,960	7,468	20,492	老朽化した階段と土留め柵を道産材で更新。	木材使用量：5.81㎡
8	木造公共建築物の整備等	見晴公園木柵更新事業(公園等整備)	19,877	19,877	0	老朽化した木道、木柵を道産材で更新。	木材使用量：9.24㎡ (木道5.68㎡、木柵3.56㎡)
9	木造公共建築物の整備等	公園施設維持管理費(南茅部ふるさと文化公園施設修繕)	7,876	3,352	4,524	老朽化した遊具を道南スギ等を利用し更新。	木材使用量：0.7654㎡
10	木造公共建築物の整備等	小学校校舎等維持補修費(鍛神小学校屋内運動場内壁改修)	5,397	1,950	3,447	屋内運動場の内壁材に北海道産の木材を利用し改修。	木材使用量：2.2㎡
11	木造公共建築物の整備等	史跡大船遺跡整備事業費	11,942	2,841	9,101	既存園路の改修および新規園路・階段の設置に道産材を使用。	ウッドチップ舗装：唐松チップ 園路緑木・丸太階段：杉材 木材使用量：4.68㎡
		計	104,681	58,376	46,305		

【事業等の説明】

- 適切な森林の管理のため、令和元年度から令和3年度までに意向調査を実施し、回答のあった森林所有者1400人に対して、事業の進捗状況等を記載したフォローアップのための文書等を送付し、施業の見通しや今後の流れについて説明。
- 私有林整備の推進のため、公共に採択された下刈70.02ha・間伐21.60ha・保育間伐13.24ha・枝打ち5.78haに対し上乗せ補助を実施。
- 「地域材の普及啓発」と「木育」の観点から、小学生の夏休みおよび冬休み期間にあわせて「親子で作る木工工作教室」を市内の公共施設など6会場で計12回開催。木工マイスターの資格取得者が講師となり、地域材である道南スギを使用した子ども椅子を製作するイベントには219名のご家族が来場された。また、赤ちゃんの誕生を祝い、道南スギで製作した積み木を出生祝記念品として贈呈する事業を実施。
- 人材育成の観点から、自伐型林業に関する現場研修会をのべ10日間にわたり実施し、40人の参加があった。
- 木材利用の観点から、市内の小中学校の室内運動場の内壁を道産材を用いて改修。また、老朽化した函館緑地の階段と土留め柵、見晴公園の木道、木柵、ふるさと文化公園の老朽化した遊具を道産材を用いて改修。史跡大船遺跡の既存園路を道産材を用いて改修し、新規園路は道産材を用いて整備した。